

# カモシカ通信



暦の上では2月3日が「立春」ですが、まだまだ寒い日が続きます。砂防工事の現場は屋外にあるので、寒くて雪が降ったりしても、やめるわけにはいきません。今回のカモシカ通信は、作業を少しでも軽減できるよう建設ICTに取り組む『平成2年度 天竜川水系コスマ沢砂防堰堤工事』の現場をご紹介します。

※「調査・設計・施工・維持管理・修繕の一連の建設生産現場において、効率化・高度化による生産性向上に役立つ情報通信技術」を「建設ICT」といいます。



## 建設ICT施工とは

(引用元：日本建設機械施工協会)

建設ICT (Information and Communication Technology: 情報化通信技術) とは、建設事業における「施工」において、情報通信技術 (ICT) の活用により、各施工段階から得られる電子情報をやりとりして高効率・高精度な施工を実現するものです。施工で得られる電子情報を施工後の維持管理等に活用することによって、建設生産工程全体における生産性の向上や品質の確保を図ることを目的としています。



土砂を掘削する場合、従来工法では、丁張 (目印) を設置し、途中で確認の測量を行いながら作業を行っていましたが、建設機械の運転席に設置したモニターに表示される位置情報を見ながらオペレーターが作業を行うことにより、掘削作業の工程が20%程度短縮することができ、また測量に係る人員も60%程度削減することができます。



■レーザースキャナーで得た地形の3次元データ



■ICT建機を活用した掘削作業



■3次元データを確認しながらの作業

## コスマ沢砂防堰堤工事現場の近況



勝間田建設株式会社  
現場代理人 小林 義明

令和3年1月末の現場の写真です。雲一つない晴天日でも、13時には太陽が山に陰ってしまい、薄暗く寒いです。1月20日朝の気温はマイナス11℃でした。現場は寒いので、昼食にストーブにあたりながら熱いカップメンを食べるのが仕事中の楽しみです。また、1月12日に降った雪は現場で15cm弱積りました。私自身、久しぶりの除雪作業で大変疲れしました。早く暖かい春が来ないかなと、現場で作業する全員が切望しています。工事は、右岸側のグラウンドアンカーの施工を進めながら、砂防堰堤本体工施工の準備をしているところです。工事の進捗は、22%です。



令和3年1月25日 撮影

## 遠山川砂防出張所の一節

## 遠山川上流の南アルプス登山口

周りに日本を代表する山々がいくつも鎮座する信州に住んでいながら、山登り (登山) はしないのですが、都会に住んでいる登山が趣味の友人からは、うらやましいと言われます。山の名前にも疎いので、先日も遠山川上流にある登山口から登ることができる、光岳 (てかりだけ) と易老岳 (いろうだけ) が読めませんでした。

光岳は、南アルプス南部の長野県と静岡県との県境に位置する標高2592mの山で、「日本百名山」に選定されています。山頂付近に石灰岩の岩塊があり、遠州側の麓から見ると、その岩峰が白く光って見えるところから「テカリ」石と呼ぶようになり、それが山名の元になっているといわれています。

(日本アルプス登山ルートガイドより引用)

以前は、長野県側の登山口である遠山川上流部の易老渡、便ヶ島まで車で行きましたが、土砂崩れ等で危険な箇所がいくつかあるので、現在は芝沢にあるゲートが閉じられていて、一般車の通行が禁止されています。登山者はゲートの手前にある駐車場に車を置いて登っておられるようです。

右の写真は、芝沢ゲートへ通じる林道赤石線の下栗の里付近から雪化粧した聖岳 (ひじりだけ) を自分で撮影したのですが、登山への興味は湧いてきませんでした。光岳の写真は撮りに行けないのでありません。残念。



下栗の里付近から望む聖岳 (標高3,013m)



芝沢ゲートと駐車場



ゲートの横にある登山計画書の回収ポスト